

野球 秋季大会無観客で開催

課題点からレベルアップを



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

9月5日から10月3日にかけて令和2年度秋季近畿地区高校野球滋賀県大会(以下秋季大会)が行われた。今大会でも夏に引き続き無観客での開催を余儀なくされた。本校は1回戦では堅田高校、2回戦では長浜北高校、3回戦では比叡山高校と対戦した。

1回戦

部長の越川貴文先生は「自主大会が終わってから短い練習時間で課題点は多く残されていた。大会前の練習試合に大差で負けてしまったことで選手たちの意識も変化し、良い姿勢で練習に取り組むことができるようになっていった」と打ち明けられた。また1回戦を「秋季大会に向けてチームとしてまとまってきた。

投手は試合を作れるリズムで投げることができていたと思う。このチームには長打を打つような選手はいないがパンチなどのでつないで攻撃できていた。ただ間違えてはいけなところ間違えてしまったり、普段ならアウトをとれるという場面で取れなかったりするなどの記録に残らないミスをするが多々あった」と振り返られた。

2回戦

主将の今門良太君は1回戦について「試合に出た選手のほとんどが初めてのベンチ入りだったが、試合が進むにつれて打ち解けていき打線も良かったと思う。普段練習していた守備連携でミスが出てしまったのが課題だ」と説明した。

越川先生は2回戦に向けての練習について「1回戦が終

野球部秋の戦績

3回戦	9月21日	
彦根東	0-6	比叡山
2回戦	9月19日	
彦根東	6-1	長浜北
1回戦	9月6日	
彦根東	9-0	堅田

3回戦

越川先生は3回戦について「ピンチでも要所を抑えて踏

わって2回戦が行われるまで2週間ほど空いていたので練習する機会もたくさんあった。特にバッティング練習に力を入れた」と説明された。2回戦について「前半は試合が膠着していて我慢比べのような感じだった。後半で点数を突き放せたのでよかったと思う。打撃面における課題点として、それぞれの打者が打ち方を工夫することが挙げられる」と力説された。

ん張ることが出来ていた。しかし自分たちが練習でしてきたことでミスが起こってしまっただ。改めて練習に対する取り組み方を変えていくべきだと感じた」と振り返られ「今回の大会で課題点が多く見つかった。来年の夏に向けて自分たちが試合を作るのだという意識を持ってほしい」と望まれた。

投手の友定舜君は3回戦について「初回から失点をしてしまったので守備で良い流れを作ろうとしたができなかった。また仲間がエラーをしたときに上手くフォローすることができなかった」と悔しさを滲ませた。